

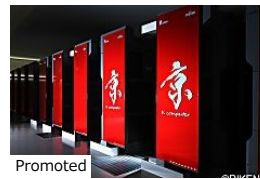


Promoted

衝撃！ヨーグルトだけに頼らない便通を改善させる手軽な裏ワザとは  
森下仁丹 on お通じnavi

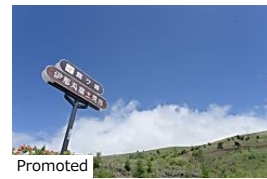


八代・震度5弱 「一体いつまで続く」 避難所、続々と詰め掛け



Promoted

日本が誇るスーパーコンピュータ「京」が「Graph500」で再び世  
FUJITSU JOURNAL by 富士通



Promoted

エアコンで有名な「霧ヶ峰」に行ってみた！  
ニクイねえ！PRESS



和歌山知のか

[トップ](#) [ニュース](#) [九州](#) [長崎](#)

## アオコ処理舟形ロボを開発 自律稼働、超音波を照射 長崎大など [長崎県]

2016年07月13日 00時11分



長崎大の実験棟で試運転するアオコ処理の舟形ロボット

[写真を見る](#)

なんと  
1点の注文から  
送料0円

Misumi-VONA  
生産材コマース

部品・工具・工場消耗品  
ネット通販

長崎大海洋未来イノベーション機構（長崎市）の山本郁夫教授らは、水質浄化装置メーカーのエビスマリン（同）と共同で、湖などで植物プランクトンが大量に増殖するアオコを処理する舟形ロボットを開発した。遠隔操作によって水面を移動し、太陽光で動くため自律的に稼働できるのが特徴。エビスマリンの寺井良治社長は「必要な機能を加え2018年中の商品化を目指す」としている。

エビスマリンの推計によると、国内では約千カ所の池やダム湖などにアオコが繁殖。海外ではアオコが出す毒素による生活用水への被害や、悪臭を放つこともあり処理方法が国際的な課題になっているという。

舟形ロボットは全長約2メートル。舟底から水中のアオコに超音波を照射してアオコの浮袋をつくる組織を破壊する。水面に浮くことができず光合成ができなくなったアオコは水中に沈み、微生物などによって分解される仕組み。

タブレット端末などでアオコの発生範囲や移動経路など活動エリアを設定し、搭載した通信端末を使ってロボットに伝達。操作に従って障害物を検知して自ら回避したり、

電圧が下がれば所定の位置まで自動帰還したりする。動力には、同大が開発した「魚ロボット」のひれ形推進システムを導入し、自在に移動することができるのも特徴という。

= 2016/07/13付 西日本新聞朝刊 =

コレ読まれてます